

環境活動ノート

活動名

日常にSDGsの視点を意識する取り組み
～ゴミをワクチンにして世界に届ける！～

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



SDGsって聞いたことがあるけど...と活動がスタートしました。SDGsについての調べ学習を通して、少しずつ理解が進んだものの、実際に自分たちの生活に当てはめるとどうしたらいいのか分からなくなりました。“SDGsを身近に捉える”を大きなテーマとして、今年度の取り組みがスタートしました。給食を残さないで食べることやフードリサイクルの堆肥で作物を育てること。ゴミを出さない取組を考えること。エコバック...など身近でできることが見えてきました。

自分たちができることを自分ごととして捉えた結果、視野が少しずつ広がりました。昨年度は、余った画用紙の端切は何かに使えるかもしれないと、紙吹雪に再利用され、卒業を祝う会で使いました。こういったことも、SDGsに繋がるのかもしれないと考え始めることができました。

参加
団体名

札幌市立西野中学校

- ☐ 小学生の部
- ☒ 中学生の部
- ☐ その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。

環境活動ノート

活動名

日常にSDGsの視点を意識する取り組み
～ゴミをワクチンにして世界に届ける！～

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



日々の活動を大切にしながら、行事で、できることを考えました。学校祭では、いい作品を作っても、終了後のゴミ捨て場はゴミで溢れかえっています。“ゴミを出さない学校祭にしたい。”と考え、リサイクルができるペットボトルキャップを使用することにしました。リサイクルするためには、ノリや塗料をつけることができないことを知り、針金を使うことに決めました。

また、調べる中で、キャップを買い取ったお金で、開発途上国へワクチンを寄付できる活動があることを知りました。

こうした内容を目標にして、今年の学校祭がスタートしました。

自分たちだけでは集められないことや、学校として取り組みたいため、全校生徒へチラシ、校内放送などを使って夏休み前から呼びかけを始めました。2ヶ月間で約1万個のペットボトルキャップを集めました。「こんなにペットボトル飲料を飲んでるんだ…」驚きました。

参加
団体名

札幌市立西野中学校

- ☐ 小学生の部
- ☒ 中学生の部
- ☐ その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。

環境活動ノート

活動名

日常にSDGsの視点を意識する取り組み
～ゴミをワクチンにして世界に届ける！～

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



学校祭では、ウミガメと絶滅危惧種をテーマに展示をしました。ペットボトルキャップと針金のみでウミガメを作り、周りには円山動物園でもらってきたゾウが食べ残した木や、自分たちが住んでいる地域にあったゴミなどを展示しました。

ステージ発表では、浦島太郎の劇を発表しました。竜宮城は汚い海でビニールが浮いていて、カメが誤飲する可能性もあるなど、SDGs版としてリメイクしました。また、衣装もペットボトルキャップやゴミになるもので作りました。劇の最後には、『SDGs！SDGs！』と全校生徒で叫びました。自分たちが今すべきことについて全校生徒に伝えることができました。

今回出たゴミは、針金でしたが、針金も違う活動に再利用しています。何人分のワクチンになったのかは、3月頃にわかる予定ですが、多くの人を救うきっかけになったと思います。

参加
団体名

札幌市立西野中学校

- ☐ 小学生の部
- ☒ 中学生の部
- ☐ その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。